

World's Window

さあ、窓を開けて世界をのぞいてみようよ

世界の窓



ニューカッスル・タイン川の夜を彩る橋

Vol.82 ニューカッスル

Hello! エマです。早いものでもう7月、鶴田町に来てから1年が経ちます。この1年の間に津軽弁を少し覚えました。とっても楽しい方言ですね。実はわたしの国にも方言があります。そこで今回は大学のときに住んでいた町とそこで覚えた方言をご紹介します。

世界の国々の地域や文化を紹介するコーナー「ワールズ・ウィンドウ」! 案内役は、国際交流員エマ・セイヤーズさんとアレックス・ロザウスキさんです。

私は大学生のころ、イギリスのニューカッスル・アポン・タインというところに住んでいました。ニューカッスルはイングランドの北東部に位置し、人口はほぼ青森市と同じ、28万人ぐらいです。122年ころローマ人たちが初めて集落を築き上げました。その間、ハドリアヌス防壁という城壁がイングランドの東端から西端まで作られました。ニューカッスルはとても歴史的な場所でハドリアヌス防壁の一部は未だに現存しています。



△現存するハドリアヌス防壁

【建築】

タイン川が都市の中心を流れているので、ニューカッスル・アポン・タイン(タインの上にあるニューカッスル)という名前が付けられました。この川に掛っている橋は22本あり、昼も夜も素敵な景色を作り上げています。一番大きい橋は90年前に造られ「タイン橋」と呼ばれて



△回転式のミレニアム橋

います。一番新しいミレニアム橋はまばたき橋という愛称で知られています。なぜその愛称かというと、船舶を通らせるためにこの橋はウインクのように軸を回転させるから



△オペラハウス (愛称ナメクジ)

【大学】

私はニューカッスル大学で言語学と日本語を専攻しました。ニューカッスル大学には日本人の留学生が結構いますので、日英協会があり、私は副会長を務めていました。そしてニューカッスル大学はたくさんの日本の大学



△ケンブリッジとオックスフォードに次に古いニューカッスルのキャンパス

と関係がありますので、ニューカッスル大学生も日本全国に留学しています。ニューカッスル大学は1834年に創立し、キャンパス内には新しいビルと歴史的なビルが混在しています。学生たちはキャンパス内に住んでいないので、私は3人の友達と一緒に近くに家を借りて住んでいました。



△大学のルームメイトたち (左端がわたしで〜)

【ニューカッスル弁】

ニューカッスルには「ジョーディ」といわれる方言があります。青森県の津軽弁に似た感じだと思います。ニューカッスル出身ではない人はジョーディが全然分からなくて英語とは別の言語とよく言われます。わたしはとても幸せそうで親しみやすい響きなので、イギリスの方言の中でジョーディが一番好きな方言の一つです。下のジョーディのフレーズをぜひ言ってみてください!

◎レッツトライ! ジョーディ

Hoo ye gannin? (フー ヤ ガニン)

お元気ですか?

Champion. (チャンピオン)

元気です。

Bonny day the day. (ボニーデー ザデー)

今日はいい天気ですね。

Whey aye, man! (ウェイ エイマン)

そうですね。

Gi ower, ya kiddin. (ギオーワ ヤ キディン)

ウソでしょう。

Ah wes pelatick! (アウエズ ペアツイク)

楽しかった。

Tara. (タラー)

じゃあね。

